

第5期第2回高圧ガス規格委員会 議事録

1. 日 時：平成30年7月9日（月）14：00～16：30
2. 場 所：高圧ガス保安協会 第1、第2会議室
3. 出席者：（敬称略・順不同）
委員 長：木村
委員：堀口、三宅（淳）、池田、高島、渡辺、三宅（博）、吉岡、佐々木、小澤、
天野、志賀、荘司、梶野、駒田（代理）、小松（代理）、中森（代理）
共同規格提案団体：豊田、秋山、加藤（以上、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物
資源機構）、大沼、岡田（以上、一般社団法人日本産業・医療ガス
協会）、二宮、佐藤、今岸（以上、一般財団法人石油エネルギー技
術センター）
K H K：杉浦、小山田、加藤、木村（悦）、高橋、岸川、畑山、井口、今井、及川、
木村（勝）
4. 配付資料
資料1 高圧ガス規格委員会委員名簿
資料2 技術基準策定手順書の変更について
資料3 規格委員会規程及び技術基準策定手順書（変更案）対照表
資料4 技術基準策定手順書（案）
資料5 高圧ガス規格委員会 技術基準整備3ヶ年計画（平成30～32年度）（案）
資料6 過去1年間の技術基準の制定等
資料7 KHK/JOGMEC S 0850-8 保安検査基準（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）等の見直しについて
資料8 保安検査基準及び定期自主検査指針（KHK/JOGMEC S 0850-8 及び KHK/JOGMEC S 1850-8）の新旧対照表
資料9 技術文書（KHK/JOGMEC TD 5800）の新旧対照表
資料10 KHK/JIMGA S 0850-* 保安検査基準（コールド・エバポレータ関係）〔仮題〕等の制定に向けた進捗状況
資料11 KHK/JPEC S 0850-* 保安検査基準（圧縮水素スタンド関係）〔仮題〕等の制定に向けた進捗状況
資料12 KHKTD **** リスクアセスメント技術文書〔仮題〕の制定に向けた進捗状況
資料13 ASME Delegate 活動報告
参考資料1 KHK/JIMGA S 0850-* 保安検査基準（コールド・エバポレータ関係）（案）
参考資料2 KHK/JIMGA S 1850-* 定期自主検査指針（コールド・エバポレータ関係）（案）
5. 挨拶等
事務局より、前回の高圧ガス規格委員会以降に交代のあった委員の紹介があった。
【退任した委員】

城戸委員（JXTG エネルギー株式会社）

栗田委員（茨城県）

【就任した委員】

池田委員（JXTG エネルギー株式会社）

荘司委員（茨城県）

事務局より定足数の報告があり、委員数 18 名に対し、委員出席 17 名（委員代理者を
含む。）で定足数（委員数の過半数以上）を満足している旨の説明があった。

開会に当たり、木村委員長より挨拶があった。続いて、木村委員長より、会議の出席
者全ての者に対して、委員等倫理心得について説明があった。

5. 議事概要

5.1 議案(1) 技術基準策定手順書の変更について

資料 2、3 に基づき事務局から説明があった。質疑等の後、委員からの意見を踏まえて
修正した資料 4 の技術基準策定手順書（案）に変更すること、また、その施行日を決議
日とすることについて採決が挙手により行われ、出席委員全員（17 名）の賛成により、
可決された。この決議を受け、技術基準策定手順書の変更は、平成 30 年 7 月 9 日から施
行することとなった。

〔資料 4 の修正〕12 頁 様式 5 「所属先」を「所属」に修正
主な質疑等は以下のとおり。

【5.1-1】

（委員）資料 4 の 12 頁 様式 5 で「所属先」は「所属」でよいのではないか。

5.2 議案(2) 技術基準整備 3 ヶ年計画（平成 30～32 年度）について

資料 5、6 に基づき事務局から説明があった。

5.3 議案(3) KHK/JOGMEC S 0850-8 保安検査基準（液化石油ガス岩盤備蓄基地関係）の 改正について

資料 7～9 に基づき事務局から説明があった。質疑等の後、委員からの意見を踏まえて
修正した資料 8 の改正案で改正手続きを進めることについて採決が挙手により行われ、
出席委員全員（17 名）の賛成により、可決された。続いて、資料 9 の改正案で改正する
ことについて採決が挙手により行われ、出席委員全員（17 名）の賛成により、可決され
た。

〔資料 8 の修正〕46 頁 「附属書 J」を「附属書 I」に修正
主な質疑等は以下のとおり。

【5.3-1】

（委員）資料 8 の 2 頁 4.2.1 で「継手部」とあるが、JIS 等の規格では「管継手」という
用語が使用されている。使い分けているのか。

（事務局）本基準のベースとなっている KHKS 0850-3 でそのように記載している。確認
の上、必要があれば、次回の KHKS 0850-3 の改正の際に記載は検討することとさせ
ていただきたい。

【5.3-2】

(委員) 資料 8 の 46 頁 「附属書 J」とあるが、「附属書 I」ではないか。
(事務局) ご指摘のとおり、修正させていただきたい。

【5.3-3】

(委員) 定期自主検査における界面計等の精度検査の方法が、1年に1回であったものが資料 8 の改正案では、2年に1回となっているが、どのような判断材料を踏まえてこのようにしたのか。

(委員) 岩盤貯槽の地下水位は、ガスの封じ込めのために重要であるが、これまでは関税法の要求により 1年に1回測ることが求められていたところ、関税法の対象から外れたことにより、従来の精度の許容値と計測頻度はこれまでの実績を考慮しても過度に保守的と考えられたため、今回、許容値は事業所が設定することとし、その頻度も2年に1回で十分であると判断したことによる。

5.4 議案(4) 制定予定技術基準の進捗状況

5.4.1 ① KHK/JIMGA S 0850-* 保安検査基準 (コールド・エバポレータ関係) [仮題] 等
資料 10 に基づき事務局から説明があった。

5.4.2 ② KHK/JPEC S 0850-* 保安検査基準 (圧縮水素スタンド関係) [仮題] 等
資料 11 に基づき事務局から説明があった。主な質疑等は以下のとおり。

【5.4.2-1】

(委員) 今後スケジュールがタイトなので、水素脆化など技術的な事項については整理しておいていただけるとよい。

(委員) 現在、FRP 複合容器についてどのようにまとめるべきかを議論している。

5.4.3 ③ KHKTD **** リスクアセスメント技術文書 [仮題]

資料 12 に基づき事務局から説明があった。その後、分科会委員の業種バランスについて採決が挙手により行われ、出席委員全員 (17 名) の賛成により、可決された。

5.5 議案(5) ASME Delegate 活動報告

資料 13 に基づき事務局から説明があった。

5.6 高圧ガス規格委員会 技術基準整備 3 ヶ年計画 (平成 30~32 年度) (案) の審議・採決

議案(2)~(5)の説明の後、資料 5 の技術基準整備 3 ヶ年計画 (平成 30~32 年度) (案) の採決が挙手により行われ、出席委員全員 (17 名) の賛成により、可決された。

5.7 議案(6)その他

(1) 本日の委員会の議事録は、規格委員会規程第 19 条第 3 項の規定に基づき、書面 (メール) により承認を得ることが了承された。

(2) 次回委員会の日程は、本日の議案(4)①及び②の検討の進捗状況を踏まえて改めて調

整することとなった。

以上